

経験を伝えること

経験を共有すること

プログラム

10:00- ワークショップの趣旨説明

10:10- **新川拓哉** (Institut Jean Nicod / 北海道大学)

みんなの経験をもっとよく知るために

—意識経験の言語的記述の質を高めるためのいくつかの試み—

11:10- **山田圭一** (千葉大学)

感覚は言語によってどこまで伝えることができるのか

—ウィトゲンシュタインの私的言語論を手がかりに—

13:30- **村田藍子** (NTTコミュニケーション科学基礎研究所)

身体情報に基づく情動経験の共有

14:30- **笠原俊一** (Sony Computer Science Laboratories)

視点映像の共有と体験の共有

15:30- **宮原克典** (University of Wollongong)

道徳的共感と認識において謙虚であること

16:30- 指定討論者によるコメントとフロア全体でのディスカッション

指定討論者：**渡邊 克巳** (早稲田大学理工学術院)

※ワークショップの趣旨、プログラム、提題者のアブストラクトはこちらからご覧いただけます。



日時：**2019年9月17日（火） 10:00-18:00**

場所：**北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟 W202 室**

オーガナイザー：**新川拓哉** 連絡先：**niitaku11@gmail.com**

主催：科研費基盤C「意識の構造についての神経現象学的研究」（18K00032 代表者・新川拓哉）

共催：北海道大学 人間知・脳・AI研究教育センター（CHAIN）<https://www.chain.hokudai.ac.jp>

北海道大学 文学研究院哲学倫理学研究室、新学術領域研究(研究領域提案型)「トランスカルチャー状況下における顔身体学の構築—多文化をつなぐ顔と身体表現」

後援：北海道大学大学院文学研究院 応用倫理・応用哲学研究教育センター

※参加自由・申込不要